

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 久慈 昭彦さん（八幡平市）

取材担当 八幡平農業改良普及センター 藤田 智美

八幡平市に新規就農した久慈昭彦さんを紹介します。

久慈さんは、農家である知人の手伝いをしたのをきっかけに、「自分でも農業をやってみたい」と思うようになり、トマトの研修を2年間、長ねぎの研修を1年間受けた後、令和5年から長ねぎの栽培を始めました。栽培面積は80aからスタートし、今年は130aに拡大して栽培しています。

久慈さんは新規参入のため、長ねぎ栽培を始めるにあたり、様々な農業機械を準備する必要がありました。担い手育成特定資産事業（新規就農スタートアップ支援事業）を活用し、「ネギ皮むき機」と「コンプレッサー」を導入しています。その他の機械も、各種事業や融資を活用して購入したり、周囲の方の協力を得て借りたりすることにより、営農開始に必要な機械を揃えることができた、とのことでした。

今後は、労働力を確保しながら、就農5年目までに350aに規模拡大する計画です。また、販路は、JAを中心に複数のチャンネルを開拓していくとのことでした。

八幡平地域の長ねぎ生産者として、今後の活躍が期待されます。



収穫作業中の久慈さん



ネギ皮むき機を使用して
調製作業をするパートさん達